

メダカ里親の会創設 20 周年記念の集いを開催しました

当会は平成 7 年 3 月に発足し昨年で 20 年を経過しました。それを記念して 20 年記念誌を発行するとともに、9 月 24 日（土）午後 1 時から 40 名の方の参加を得て宇都宮大学会館にて 20 年記念の集いを開催いたしました。

当日は来賓に宮元均様・野中英夫様・小澤祥司様をお迎えするとともに、田んぼの学校の参加者、新旧会員が一同に会しました。

会長から 20 年誌の発行紹介と故新川忠孝様への感謝の言葉、そして当会活動の合言葉である「農村に春の小川を復活させよう」が県内になかなか普及していない現状等を交えた感謝の挨拶がありました。次いで宮元様の祝辞、南斎監事の乾杯で祝宴に移りました。次いで野中様、小澤様から思い出を交えたご祝辞をいただきました。約 2 時間の集いでしたが旧交を温められたとともにこれからの会の活動に力をいただいた集いでした。



会長挨拶



来賓（野中・宮元・小澤氏）と南斎監事



田んぼの学校参加者（山本・岩原さんとバンビーニゆめさん）
山本さん・岩原さんは長期参加のリーダーであり、バンビーニゆめさんは平成 21 年から 8 年継続して来校しています。



旧会員（阿久津秀人・福田・池田の各氏）
阿久津会員は平成 13 年から 20 年までコアスタッフとして活動しました。



藤咲さん家族（会のご縁で栃木県民に）



上野さんご夫妻（平成12年からお米作りや諸々でお付き合い）



20年継続会員（水谷・中荃・阿久津・吉永和気好・野口・大橋の各氏）



歓談風景-1



歓談風景-2



歓談風景-3

話題は20年誌の編集に苦勞された会長・柳澤・涌井氏の慰勞と写真や活動の履歴に話に花が咲きました。特に互いに髪の色が薄く、白髪が増えた等の感想が多いように見られましたね。会員のお子さんも大学生や社会人になり20年の重みを感じました。



参加者全員

最後に吉田会員より市貝町で試行している「キンブナプロジェクト」の紹介をしていただきました。会の目標である春の小川でのフナ釣りが復活できる夢のプロジェクトです。成功を祈りつつ集いを閉会いたしました。